



浜口参議院議員、厚生労働委員会にて、 コロナワクチン接種に対する政府対応を質す！

8月5日厚生労働委員会にて、自動車総連顧問 浜口誠参議院議員が質疑に立ちました。

- ◆ **職域接種を実施している各企業や団体は、会場や医療従事者の確保など、外部委託も含めて様々な尽力をしてきた。にも関わらず、ワクチン供給体制の脆弱さによる供給スケジュールの変更などが多発しており、各企業や団体は、本来であれば不要な調整業務や費用負担（会場費、外部医療従事者手配費など）を強いられている。この点に対する政府の考えを伺いたい。**
- ◆ **インドネシアでは、感染再拡大による医療崩壊が危惧されている。現地の大使館や領事館にて、日本人医師によるワクチン接種などの医療行為を可能にする等、在留邦人に対する医療サポートをお願いする。**



浜口 誠
参議院議員



田村 憲久

厚生労働大臣

《政府答弁》

- ◆ **各企業や団体のワクチン接種機会拡充につながる協力を、感謝申し上げます。職域接種を実施する企業等が、会場や医療従事者等を確保することを基本に、2,070円/接種1回の国負担に加え、外部の医療機関の活用など、一定の条件を満たす場合には、1,000円/接種1回を上限に交付するとしている。財政以外の支援も検討しているが、難しいこともご理解いただきたい。**
- ◆ **国外での医療行為の実施可否は、各国のルールに基づいて定められている。現地で医師免許を有していない場合の医療行為は困難であるが、現地ニーズを踏まえた対応を最大限検討していきたい。**

本質疑内容につきましては、衆議院・参議院インターネット審議中継にて録画をご覧になれます。

<https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php> 検索ワード「8月5日厚生労働委員会」



本件に関するお問い合わせは自動車総連 政策局までご連絡ください。

